

参考資料 答申案 1・答申案 2 の内容の差異

	答申案 1	答申案 2
前 段	以下の 6 つの提言を行います。今年度の答申については、審議会における議論の中で出た要望や改善点をより直接的に伝えるため、要点のみを記載しています。 (1 ページ, 18-20 行)	以下の 3 つの提言を行います。 (1 ページ, 18 行)
提言部分	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しい形式であり、第 5 回会議での委員の意見をそのまま記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 従前の形式であり、第 5 回会議までの委員の意見をまとめて記載している。
総合的評価	同一	
利点	<ul style="list-style-type: none"> ● 提言内容が箇条書きで整理されているため、改善する内容が分かりやすい。 ● 市民参加推進会議委員の意見をそのまま採用している。 ● 答申部分が 2 ページにまとまっており、簡潔である。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 提言内容に関する説明がされているため、改善する理由が分かりやすい。 ● 提言した内容の理由や背景を説明し、市民参加に詳しくない市民へ配慮している。 ● 会議中に出たその他の意見についても触れている。
欠点	<ul style="list-style-type: none"> ● 提言を箇条書きとしており、説明がないため、改善する理由が分かりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 委員の意見についての説明が多いため、全文を読まなければ改善する内容が分かりにくい。 ● 答申部分が 3 ページに渡っており、冗長である。